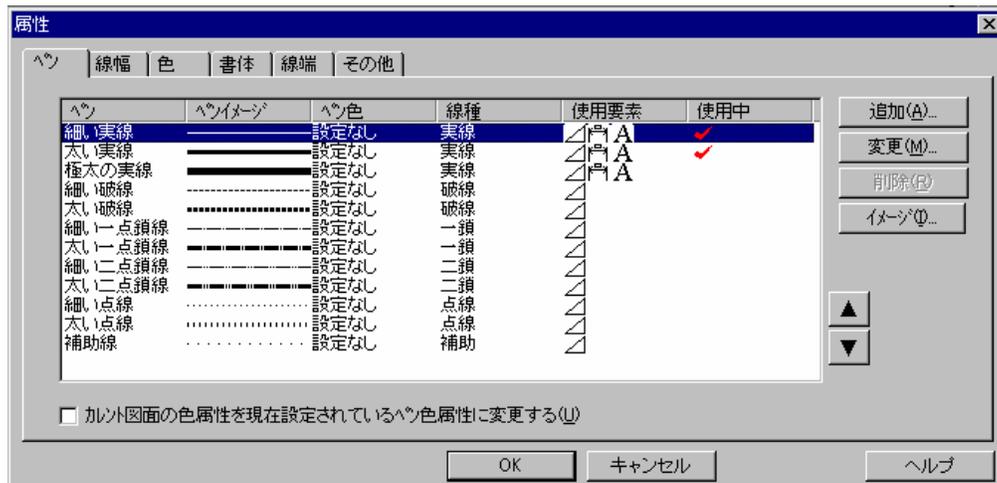
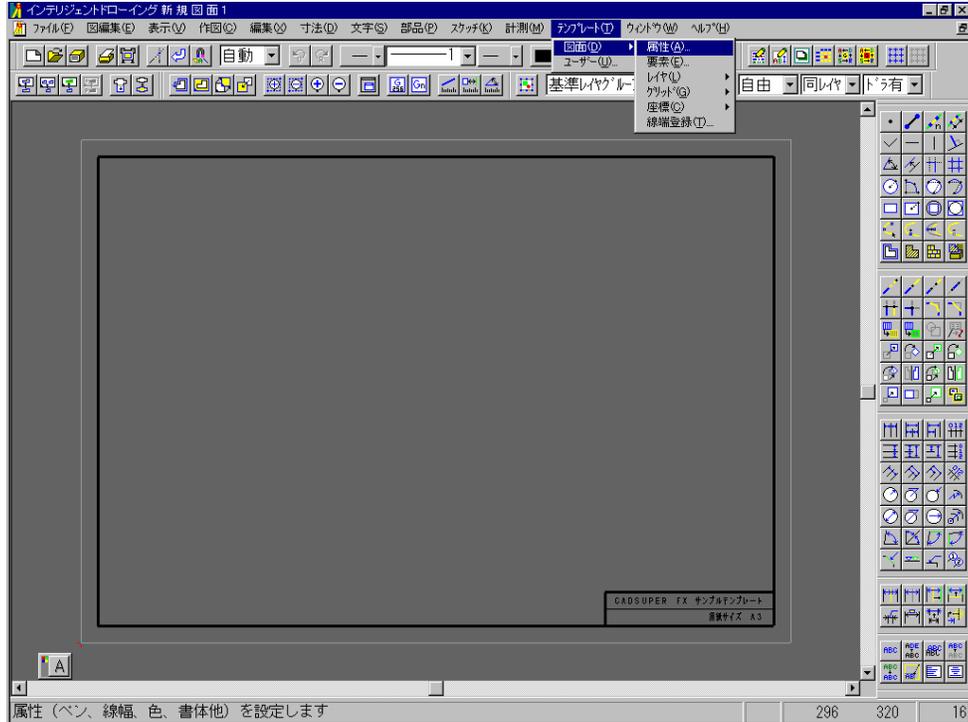
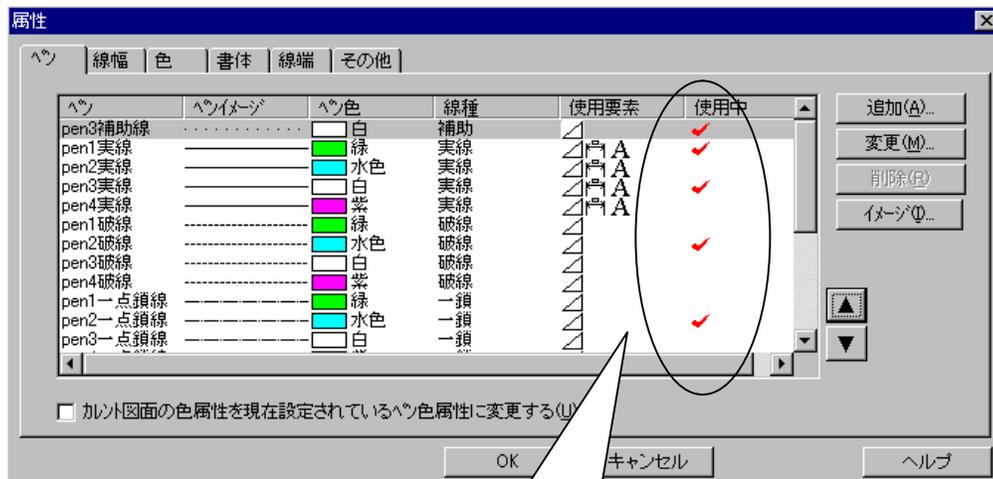
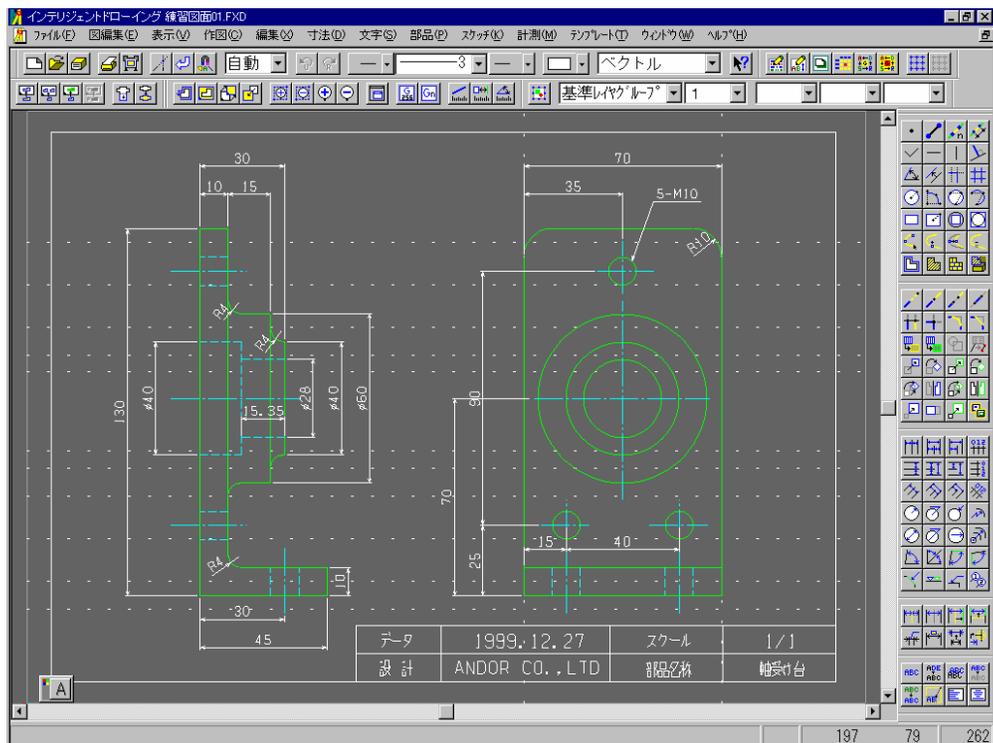


## 図面から図面のコピーによる線種の削除

新規図面－図面テンプレート－A3 (FX). FTD————— ①



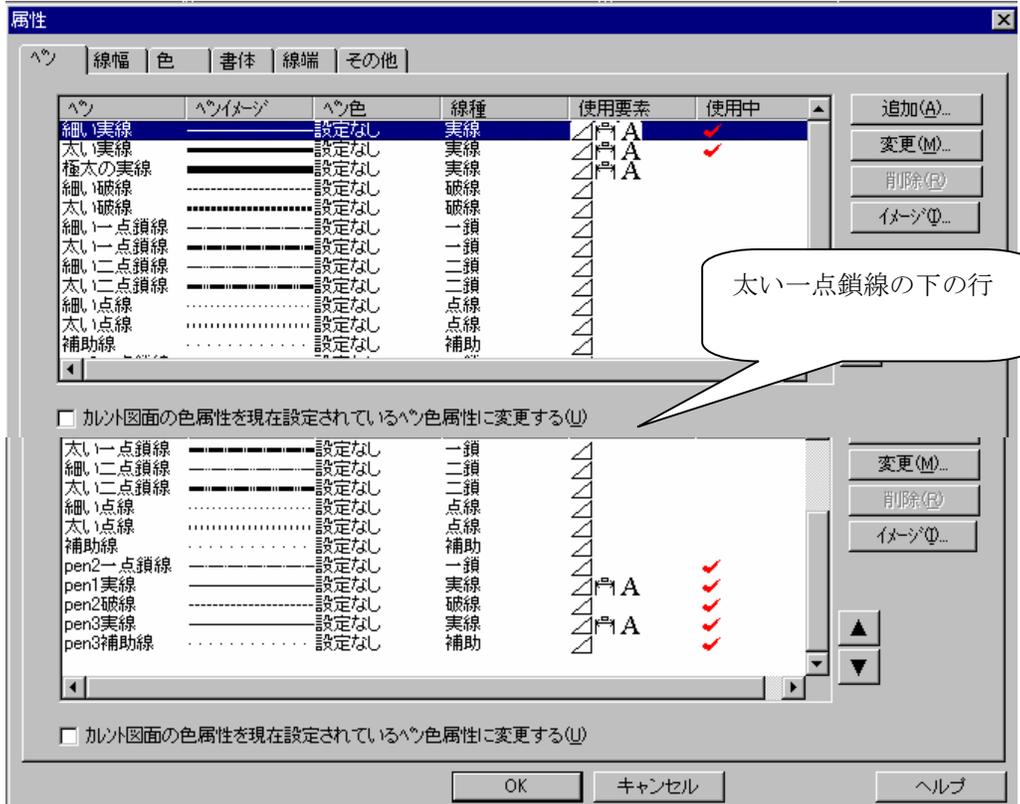
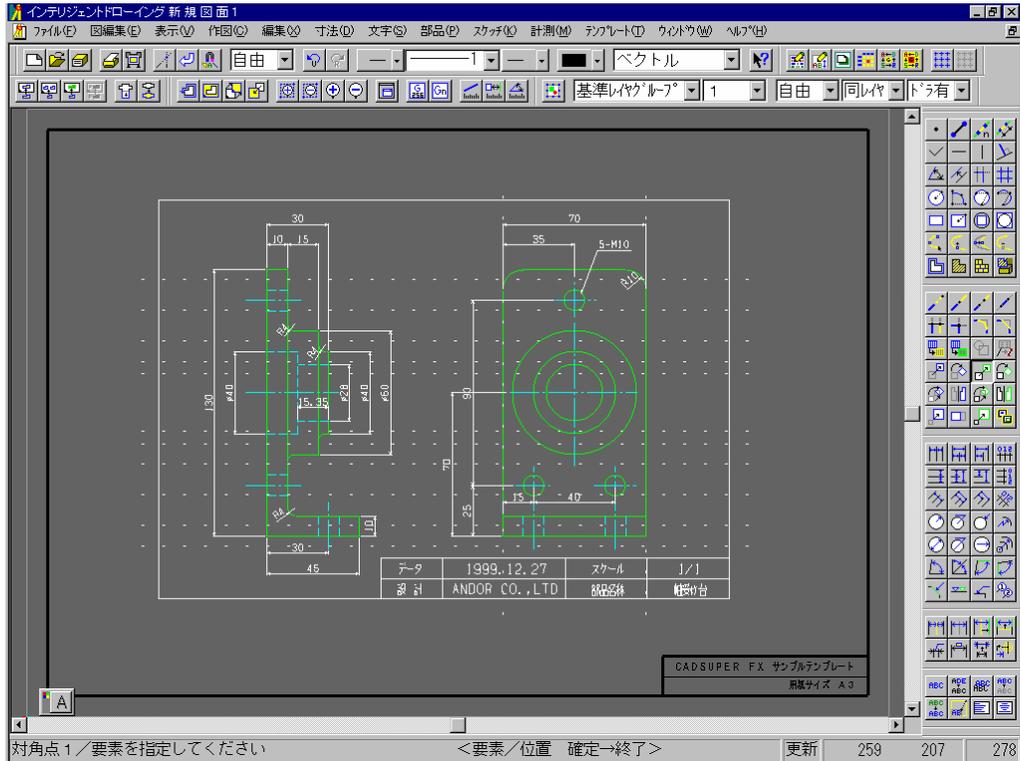
開く一練習図面 01. FTD ②



(使用中のペンのみ)

- pen3 補助線
- pen1 実線
- pen3 実線
- pen2 破線
- ペン 2 一点鎖線

複写—平行 (②の図面を①の図面にコピー)



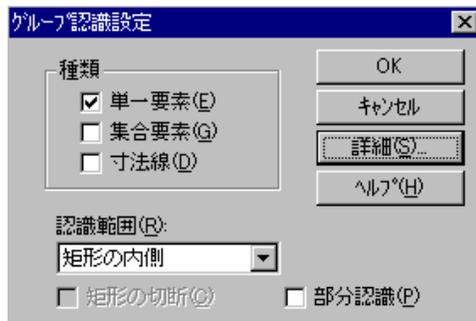
すると、②の図面で使用中のペンの属性も一緒にコピーされる。

ここで、②の図面で使用していたペン属性を①の図面のペン属性に変更してみる。

ここで注意してもらいたい事は、②図面で使用していたペン属性を確認し、①図面のペン属性に変更しても問題無いか確認する。

変更しても問題なければ、まず、①線種を選択する。(必要に応じて線色も変更もする)

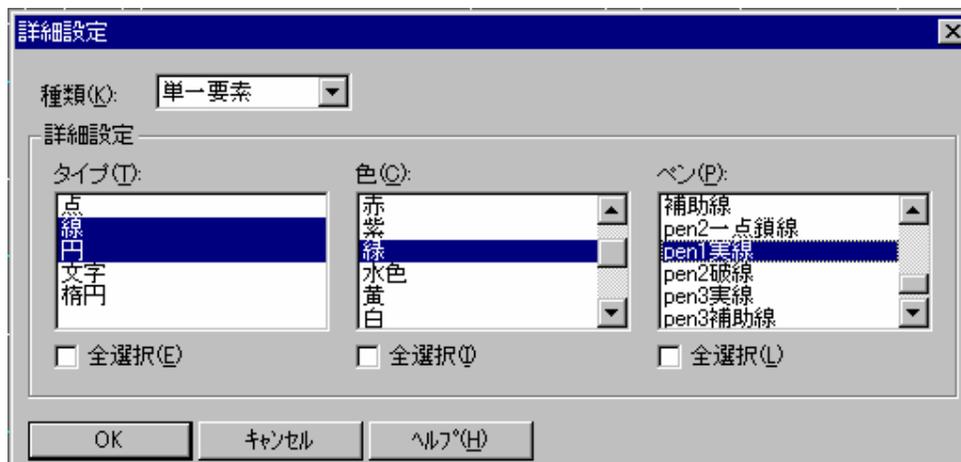
②編集-変更-現属性を選択し、そのまま上のツールバーの認識コマンドをワンクリックする。



グループ認識設定では、

詳細ボタンを押す。

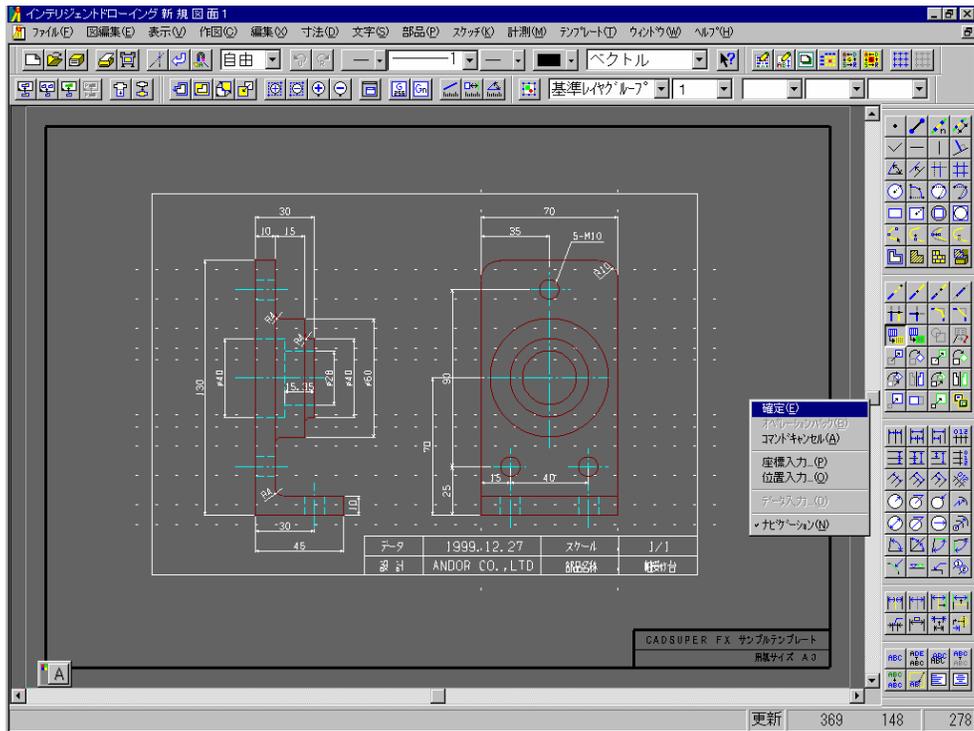
集合要素、寸法線のチェックを外す。



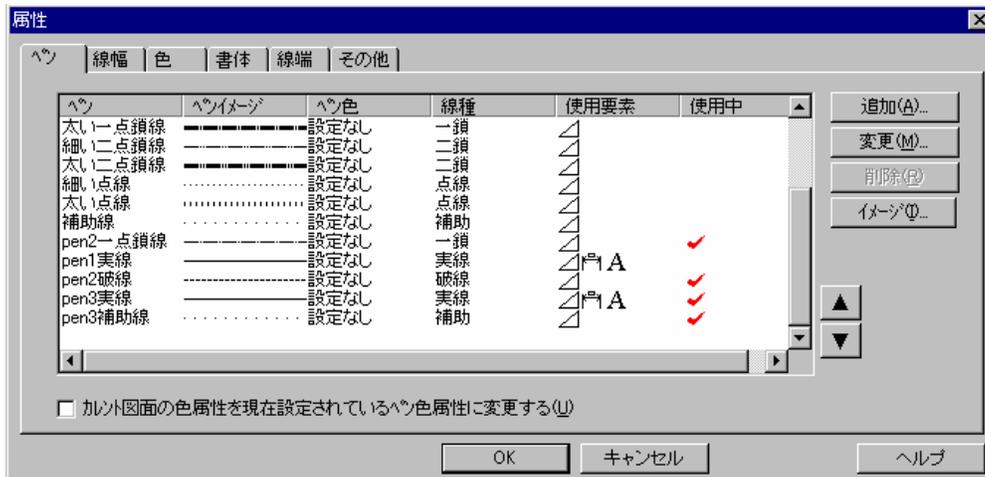
全選択のチェックボックスのチェックを外す。

タイプを線と円、色は緑、ペンを pen1 実線を選択する。

OK をクリックし、グループ認識設定も OK する。

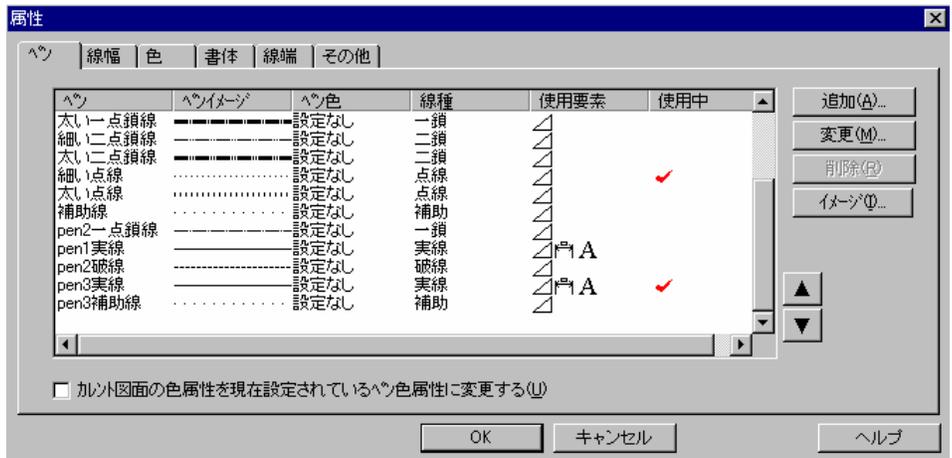
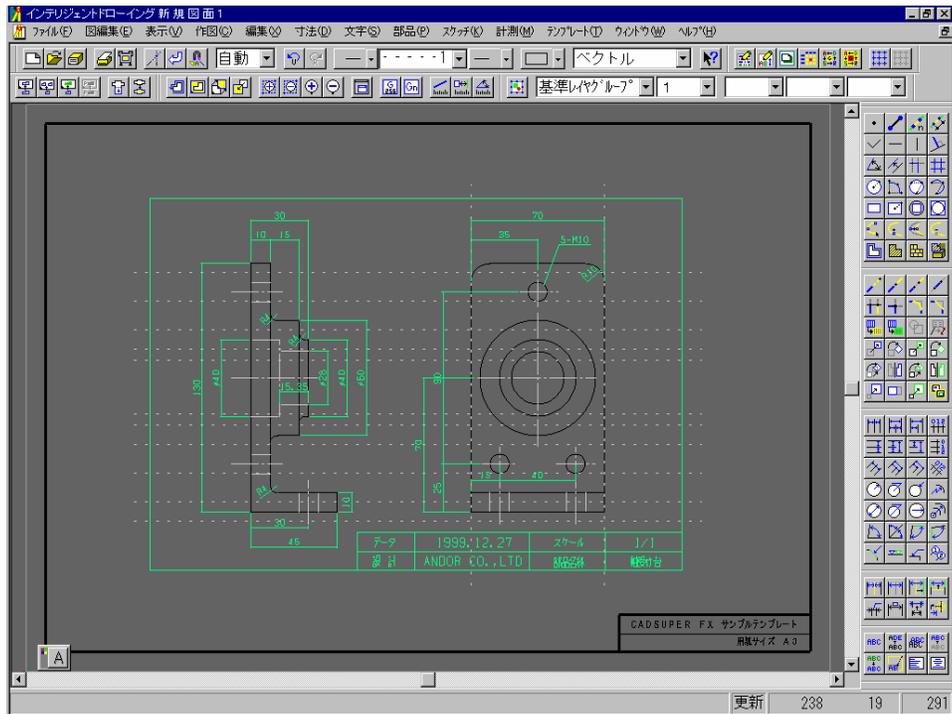


③対角指定をし、確定するとペン属性が変更される。



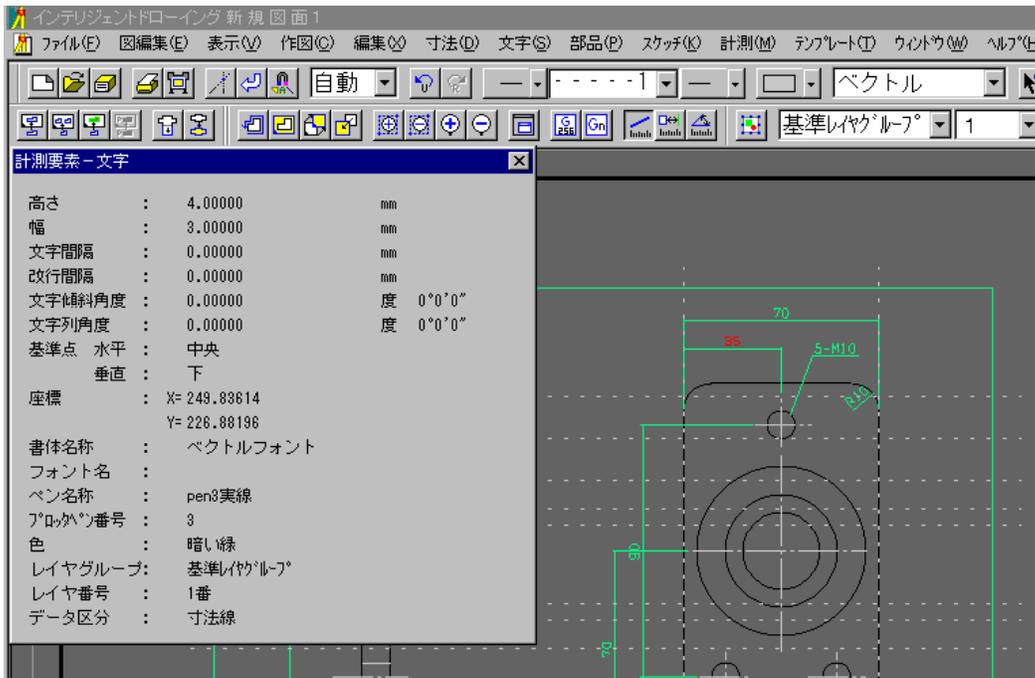
Pen1 実線が使用中では無くなった事が確認できる。

以下同様に pen2 一点鎖線、pen2 破線、pen3 実線、pen3 補助線もペン属性を変更する。



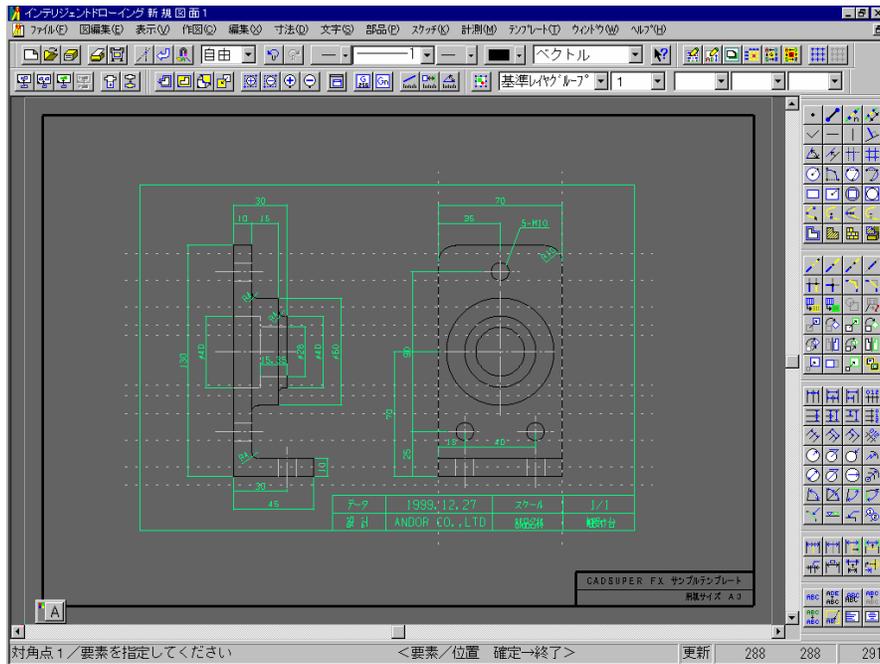
編集－変更－現属性でペン属性を変更できるが文字のペン属性は変更できない。ので、文字－変更－任意を選択して、変更するしかない。

ここで文字の属性を計測－要素で確認しておく。2種類あるのでそれぞれ確認する。

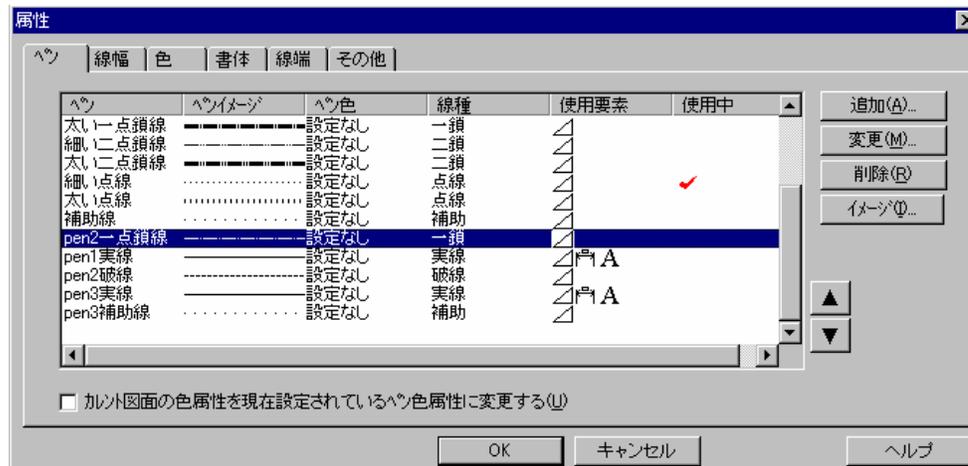


高さ 4mm、幅 3mm、ペン名称実線3であるので、変更箇所はペンを細い実線と変更し、高さを4、幅を3と入力する。(色は任意に変更する)





この様に変更したので、**テンプレート** - **図面** - **属性**を選択する。



後は、使用中にチェックが入っていないので、指定し、削除していけばペンは表示されなくなる。